大阪毎日新聞　月日　新聞　月日　新聞　月日　新聞　月日　新聞　月日　新聞　月日　新聞

新要求は斷然拒絶

住友電線製造所の爭議

『就業なさい』の注意書掲示

職工は喊聲を揚て歸る

工場内罷業を繼續してゐる大阪西區恵島町住友電線製造所職工は夕刊所報の如く十七日更に新要求書を提出して即答を求めたが會社側では即答どころか回答するかせぬかさへも言明しなかつたので職工側の憤慨はます〳〵其度を加めるらしい、會社では何時までも場内罷業を續けられては遣り切れぬとあつて同日午後三時各場内各所に左記の『注意書』を掲示した

注　意

此間から度々申出がありましたが會社では初めから出來るだけの事をお答へしたのでありますから如何樣に考へても十四日に皆樣にお答へした回答より外致方がありませぬ、何卒皆樣は會社の誠意のある所を諒解して仕事について下さい、若しも怠業等が此上續きますと皆樣にも大變不利益な事になり外ありませんから左樣な結果にならぬ間に即刻仕事にお就きなさい

斯くて西崎常務は同四時半實行委員阿部委員外八名を應接室に招致し新要求に對する回答として諸君の新要求につき總本店の幹部に諮つたがお氣の毒ながら斷然容認する事が出來ないとの事であるから左樣承知して貰ひたいと述べ尚『罷業を今日限り打切り明日よりは眞面目に就業して貰ひたい』との悪罵に對し委員等は何事も語らず憤き流しの儘引揚げると同時に男女千五百の職工は喊聲を揚げつゝ歸路に就いた委員は語る

吾々は食へないから要求したのですが會社側は要求を容れては會社が潰れると云ふのです、換言すれば會社側は會社を存續せしむる爲めには職工の生活は犠牲にしても可いと云ふのです、吾々は騙れるなら會社と共騙れすれば良いと思ひますが會社はそれは厭だと云ふのです、爭議の焦點はコヽにあると云つて好いでせう

愈々本店へ要求書提出

本日も罷業繼續

住友電線製造所職工中實行委員は十七日夜四貫島賀川源治方に會合し對應策につき協議を凝した結果職工の要求に對する會社の意見が總て本店で決定するのに工場で決定權のない人達と交渉してゐては埒が明かぬから十八日直接本店に要求書を提出する事及び會社が休業せぬ限り十七日同樣出勤して就業せぬ事に決し同十時散會した

住友總本店へ

復職運動打切

住友製鋼所爭議

大阪西區島屋町住友製鋼所の爭議は夕刊所報後實行委員九名は午後二時半同所應接室で工藤支配人、川上副支配人等と會見し嘆願者約八百名の連判狀を示し『尚全部が繼つて居ないから追つて取纒めた上提出する』旨を告げ更に工藤氏の質問に對し嘆願書の第一條團體交渉權確認の件に關し

團體交渉權は當所内職工百名以上の團體を交渉團體とし勞働時間、賃金、解雇、工場内諸施設等に關する交渉權を認められたしとの意味である

と說明して午後三時工場に引揚げ四時廿分終業と同時に職工一同を大食堂に集め委員から交渉の經過を報告する所があつて一同は同五時無事歸宅したが實行委員七十名は直に西九條森崎太郎方に會合して對策を協議し更に代表委員八名は同七時四十分住友總本店に山下製鋼所長を訪ひ約一時間半に亘り山内機吉の復職につき膝詰談判を試みたが山下所長が應ぜぬ貧め已むなく九時半西九條の事務所に引揚げ會合中の實行委員約六十名に報告し尚對策につき協議の結果山内復職運動は一應打切る事に決し兎も角も十八日正午勞働條件の要求に對する會社側の回答を待つ事に申合せて深更散會した

本日の狀況で臨時休業か

總本店の密議

住友總本店では十七日朝來幹部會議を開き電線、製鋼兩工場の爭議に關し對策を協議してゐたが製鋼所職工の嘆願に就ては團體交渉權及び解雇手當の件は電線製造所職工に對する回答と同樣の回答を能ふる事に決定したらしく其他の條項に就ては深更まで協議中であつた右につき中田理事は語る

職工の要求は餘りに過酷です、全く日本の産業を破壞せんが爲めの要求としか考へられません斯の如き要求を容れる事は假令會社に容れる能力があるにしても尚且全國の工業界に對して相濟まん譯だと思ひます況んや私の方の工場ではアンナ要求を容れるだけの能力がないのですから尚更困つてゐる次第です云々

因に電線製造所は既に場内罷業二日に亘つてゐるので十八日の狀況により臨時休業するやも知れぬ形勢である

決議と宣言に氣勢を揚ぐ

勞働爭議演說會

友愛會主催の住友、藤永田、相澤合同爭議批判演說會は既報の通り十七日午後六時から天王寺公會堂で開催された、雨の爲出足を妨げられたにも拘らず來會者無慮千五百の多數で開會に先ち全大阪勞働者大會を開き友愛會の野田律太氏座長となつて左の決議文を發表した

（一）吾等は團體交渉權を要求す（二）吾等は橫斷的組合の外斷して資本家に讓らず（三）吾等は工場立憲のため工場委員制度の採用を主張す

文で演說會に入り鈴木友愛會長、賀川豐彦、木村庄吉、高山義三諸氏以下十數名の職工等交々熱辯を揮ひ終つて勞働運動に對し飽くまでも自由を主張する旨の宣言を朗讀し十時半勞働歌を歌ひつゝ散會した

西尾氏等收監

若松町分監へ

罷業責任者ビラを撒布した廉で十七日大阪地方裁判所石橋岡檢事による治安警察法第十七條の適用を受け起訴された友愛會大阪支部主事西尾末廣氏外七名は同日午後七時秋山檢事判事の令狀を執行され若松町分監に收監された尚朝日橋吉・塚本重藏、永田光三、松井直市の四氏は午後三時半釋放された

神戸の應援

勞働者大會

藤永田造船所の罷工團を應援するため神戸在住各勞働團體聯合の神戸勞働者第三回大會は十八日午後七時神戸新開地勞働者館で開催

參加團體は神戸鐵工組合、神戸印刷工組合、神戸鐵道工組合、神戸電氣工組合、東神鐵工組合、神戸造船工組合、友愛會神戸聯合會等で當日は罷工團應援の第三回寄附金を募集し演說會に移り賀川豐彦氏印刷工組合長久留弘三氏、大朝記者岡成志氏、新聞士高山義三氏、友愛會長鈴木文治氏等が出演する筈因に神戸で既に集つた罷工團寄附金の額は七百圓に達してゐる